ARCSERVE D2D R16.5 FOR WINDOWS

Arcserve D2D r16.5 for Windows

RDX へのバックアップ②設定・操作手順書

2013 年 11 月

REV 1.5



| 1. | はじめに | 2 |
|----|-------------------------|------|
| 2. | D2D と RDX によるバックアップ運用 | 2 |
| 3. | バックアップ スケジュールとカートリッジの交換 | 3 |
| 4. | D2D の設定 | 6 |
| 5. | ステータスの確認 | . 11 |
| 6. | ファイルのリストア手順 | . 15 |

<本書の構成について>

Arcserve D2D r16.5 for Windows による RDX へのバックアップについての資料を、以下の 3 部構成で用意しています。本書は「② 設定・操作手順書」です。その他の手順については別資料を参照してください。

①導入手順書

RDX のセットアップから、Arcserve D2D のインストール、パッチの適用方法などを画面付きで示しています。

② 設定·操作手順書

RDX カートリッジを 2 本使用し、1 週間交代で運用させる手順の例とリストア方法を示しています。

③ ベアメタル復旧手順書

RDX カートリッジへ保存したデータを利用した、ベアメタル復旧方法についての手順を示しています。

本書は情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す 範囲で、いかなる種類の保証(商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます(ただし、これに限定されません))も伴わ ずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など(ただし、これに 限定されません)、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっ ても一切の責任を負いません。

Copyright © 2014 Arcserve, LCC All rights reserved.

1. はじめに

Arcserve D2D for Windows(以降 D2D と表記)は、ディスクベースのバックアップ製品であり、ビジネス上の重要な情報を 保護および復旧する際に、高速で簡単に使用できる、信頼性の高い方法を提供するように設計されています。

本書では、D2Dと外付けデータストレージ「RDX」と組み合わせ、安全で確実なデータ保護を実現するための、手順を解 説します。本書を最後まで読み進めることで、RDX を利用した D2D によるイメージ バックアップ運用を開始できるようにな ります。

本書は、バックアップ先に RDX を利用する際のバックアップ設定例と操作について説明しています。

2. D2DとRDX によるバックアップ運用

本書で説明する D2D と RDX を利用したバックアップ運用要件は以下となります。

- a) バックアップの実施は1日1回
- b) 土曜日にフルバックアップ、その他の曜日は増分バックアップ
- c) 1本のカートリッジに、1週間分のバックアップデータ(フル+増分)が収まる容量
- d) 2本の RDX カートリッジを交互に使用。取り出した RDX により常に 1週間前までのバックアップを保持
- e) 障害発生時は最新のバックアップからベアメタル復旧

※運用の具体的な流れについては「3. バックアップスケジュールとカートリッジの交換」も参照してください。



RDX と D2D を併用したバックアップ運用のメリット

RDX と D2D を利用したバックアップ運用では、うっかりミスによるバックアップの失敗や、運用の手間を省くことができます。

- RDX Utility の導入で、アクセス中の誤ったカートリッジの取り出しを防止できます
- カートリッジの入れ替えを忘れても、D2Dは最新のバックアップデータを保持します。
- RDX は振動と静電気に強い構造のため、ディスク障害の発生確率を低く抑えることができます。
- D2Dの自動運用によって運用中はもちろん、システムのリカバリが必要な場面でも、簡単に復旧できます。

本書の例では、1本のカートリッジに1週間分のデータをバックアップします。2本のテープを使いまわし、1週前のバック アップデータはカートリッジを取り外して保管します。

カートリッジは、バックアップ運用の開始後、毎週土曜日のバックアップ開始時刻までにカートリッジを入れ替えます(金曜日の帰宅前の入れ替えを想定)。それにより、毎週土曜日の深夜 1:00 からフルバックアップを開始します。

土曜日以外のバックアップは、増分バックアップを実施するためバックアップ容量・時間ともに短縮することが可能です。 (ここでは、2本のメディアを使いまわす運用を想定していますが、2週間前のバックアップから復旧する要件の場合は、 3本のメディアを用意してください。)



・1本のRDXメディアに1週間分のデータをバックアップ



・毎日1:00にバックアップ開始

この運用を行う流れを以下に示します。

(1) D2D のバックアップ設定

上記の運用を実現する設定方法(詳細は「(5)保護設定」を参照)

[設定]-[保護設定]

バックアップ先:RDX が割り当てられているドライブを指定

保存設定:復旧ポイントの保持 – 復旧ポイント数7

[設定]-[スケジュール]

開始日:任意の土曜日を指定 – 開始時刻 1:00

増分バックアップ:繰り返し実行する-1日間隔

(2) カートリッジ取り出し手順

RDX カートリッジは、以下の方法で取り出すことができます。

- ・エクスプローラからドライブを選択して右クリックにて取り出し
- ·RDX 側のイジェクトボタンによる取り出し

取り出す際には、以下の点を確認の上、実施してください。

- RDX カートリッジのアクセスランプが点滅していたり、エクスプローラで RDX 上のフォルダを開いていない
- Windows の[ディスクの管理]から取り出し操作を行わない

(3) カートリッジの再利用

カートリッジを再利用する際は<u>事前に古いデータを手動で削除してください</u>。削除されていない場合は、検証バックアップが動作し、バックアップに時間がかかる可能性があります。

データを削除には、エクスプローラから右クリックでフォルダごと削除します。



(4) バックアップとカートリッジ交換の流れ

1週間のバックアップ終了後、カートリッジを交換します。カートリッジを再利用する前にデータを削除することを 忘れずに行ってください。



(補足)カートリッジの選定

RDX は 320GB、500GB、1TB、1.5TB の 4 種類の容量のカートリッジがあります(2013 年 11 月現在)

どのカートリッジを用意するかはバックアップする容量に準じます。

Arcserve D2D では標準での圧縮機能や増分バックアップで使用するディスク容量を抑える機能を装備していま すが、今後バックアップデータが増加することを見込み、余裕を持ったサイズのカートリッジを準備しておくことを お勧めします。

4. D2Dの設定

「バックアップ先」と「バックアップ時間」を D2D へ設定し、運用を開始します。

D2D の管理/操作は全てブラウザ上から行います。従って、D2D を操作するために専用 GUI をインストールする必要は ありません。導入先のサーバローカルでの操作はもちろん、リモート PC からも導入先サーバへブラウザ経由でアクセスし D2D を操作することが可能です。

またブラウザは Microsoft IE、Mozilla Firefox、Google Chrome が利用可能です。 各ブラウザのサポート バージョンについては、D2D サポートページよりブラウザ動作要件を参照してください。

http://www.arcserve.com/jp/lpg/jpsupport/sysreg/d2d165win.aspx

D2D の管理用画面は、以下の手順でタスクトレイから起動するか、もしくはブラウザに直接 URL を入力し起動することができます。

D2D 管理用画面 URL: http://サーバ名:8014

(1) 設定 GUI の起動

D2Dをインストールしたサーバのタスクトレイ上の D2D アイコンをクリックし、メニューから[設定]をクリックします。



※ ブラウザに直接 URL を指定する場合は、以下のアドレスを指定します。
 http://サーバ名:8014 (リモートからアクセスする場合)
 http://localhost:8014 (サーバ本体からアクセスする場合)

既定のブラウザが起動し、D2D ホームページのログイン画面が表示されます。インストール時に指定したアカウントでログインします。下図の例では「Administrator」アカウントでログインしています。「パスワード」を入力し、[ログイン]をクリックしてください。



(3) GOOGLE へのアクセスの抑制

ログイン後、ユーザコミュニティ機能による Google へのアクセスが Internet Explorer の接続設定によってブロックさ れたことを示すダイアログが表示されます。 D2D のユーザコミュニティ機能を利用する場合には、ダイアログ画面の指 示に従い Internet Explorer を適切に設定してください。



ブラウザを起動したマシンがインターネットに接続していない、あるいはユーザーコミュニティ機能を使用しない場合には、D2Dのタスクトレイメニューより、[拡張]を選択し、ニュースフィード機能を[オフ]に設定します。



(4) ソーシャル ネットワーキングの無効化

Twitter や Face book などのソーシャルネットワークを利用しない場合には、上記と同様の手順で、ソーシャルネットワーキングを[オフ]に設定します。この設定により D2D のホームページ画面上から、Twitter、Facebook アイコンを非表示にすることができます。



(5) 保護設定

ログインが完了すると自動的に[設定]画面が起動します。

① バックアップ先の設定

「① 設定・操作手順書」の「1. RDX のセットアップ」で事前に確認した D2D のバックアップ先を設定します。下図 は RDX のドライブレターが Fドライブに割り当てられている場合の設定例です。

② 復旧ポイントの設定

RDX に保持するフル バックアップの世代数を設定します。

ここでは、RDX カートリッジ内に 1 週間のバックアップ イメージを保持させるため、復旧ポイントを「7」に設定します。



(6) スケジュール設定

事前に確認したバックアップ時間と繰り返し間隔を設定します。

- ① [スケジュール]アイコンをクリックし、スケジュール画面を開きます。
- ② 開始日の設定

バックアップ運用を開始する日と、毎日バックアップが実行される時刻を設定します。開始日はデフォルトでインストールした日が設定されています。本書の運用では土曜日を起点にするため、土曜日に運用が開始されるよう設定を変更します。

③ 開始時刻の設定

事前に確認した、毎日のバックアップ時刻を指定します。(本書では 1:00)

④ 増分バックアップ

日々のバックアップでは、増分バックアップを選択します(デフォルト)。バックアップ先にフル バックアップ デー タが存在しない場合、増分バックアップが選択されていても、フルバックアップを実施します。

| 設定 | × |
|---------------------|---|
| 🛃 パックアップ設定 🛛 📉 🗆 | ファイル コピー設定 🛛 💽 復旧ポイントのコピー 🛛 🧱 環境設定 |
| | スケジュール マ 開始日時の設定 |
| | 2 開始日 2013/10/26 ③ 開始時刻 1 ▼: 00 ▼ |
| 259J-14 | CA ABCserve D2D は、最後に正常に完了したバックアップ後に変更されたデータのみを増分バックアップします。 |
| | マ フル バックアップ CA ARCeave D2D (生 避想) たぞこかをマジンからすべてバックフップ) ます |
| 拡張 | ○ 繰り返し実行する 一定間隔 1 ■ 実行しない |
| | ▽ 検証バックアップ CA ABOserve D2D は最後に正常に完了したバックアップデータとリースデータを比較し、信頼性チェックを実行します。次に差分のみを |
| イバックリック美行画/後0歳 定 | ・増分ハックアップ(中同期)します。最終的なパックアップサイズ(は増分バックアップよりも小さいが同程度ですが、すべてのデータを比較する ため増分パックアップはりも時間がかかる場合があります。 ・ |
| | 設定の保存 キャンセル ヘルフ |

(7) 設定の保存と運用の開始

設定内容を確認し、[設定の保存]をクリックします。D2D では設定の保存が、スケジュールの開始となります。

5. ステータスの確認

運用中は、いつでも D2D ホームページからスケジュール時刻や、バックアップ状況を確認することができます。

(1) D2D 管理画面の起動方法

D2Dの管理画面を起動するには、タスクトレイアイコンメニューから[CA ARCserve D2Dを開く]を選択します。



(2) D2D 管理画面へのログイン

D2D の管理画面が起動すると、最初にログイン画面が表示されます。インストール時に指定した管理者パスワードを入力して、ログインします。

| 全理者権限のあるユー | ひらのでので、 してのダインしてください。 |
|------------|----------------------------------|
| ユーザ名 | Administrator |
| パスワード | ••••• |
| | <u>ロザイン</u> |
| | |
| | |

(3) D2D スプラッシュ画面

D2D スプラッシュ画面が表示されるので、[閉じる]をクリックします。必要に応じて、この画面から[設定]画面の呼び出し、もしくは[ユーザガイド]の参照が可能です。



(4) バックアップ スケジュールの確認

D2D 管理画面が表示されるので、[ジョブモニタ]よりバックアップスケジュールを確認します。下図の例では初回バッ クアップのスケジュール日時は、"2011/09/11 午前 1:00"にセットされています。初回バックアップが完了するまでは、 ステータス アイコンは[失敗]の状態となります。バックアップが完了すると、復旧ポイントが追加されステータスアイコ ンが[失敗]から[正常]に変わります。

| ジョブ モニタ | | |
|-----------|---|--|
| 次にスケジュールさ | れたバックアップ: 2011/9/11 午前 1:00:00 フル バックアップ | |
| ታረባ | | |
| | ● 前回のパックアップ - N/A N/A 更新が有効です。 | |
| | | |
| | バックアップ先の容量 バックアップ先には 33.9.1 GB の空き容量があります。 ポリューム: e.¥ | |
| | | |
| | 🗾 パックアップ 0 パイト 🛛 〒 その他 91.16 MB 🔤 空き容量 39.91 GB | |

(5) ジョブモニタによるバックアップ進行状況の確認

バックアップが開始されると、ジョブモニタにバックアップの進行状況が表示されます。[詳細]ボタンを押すことでバックアップジョブの内容を確認することができます。

バックアップ開始直後は、バックアップ準備のため[推定残り時間]やプログレスバーは変化しません。

| ジョブ モニタ | | | |
|------------|------------------------|---------------------|--|
| 次にスケジュールされ | いたパックアップ: 2011/9/11 午前 | i 1:00:00 フル バックアップ | |
| へバックアップ | 推定残り時間: | N/A | |

(6) バックアップ設定の確認

バックアップ準備が完了し、バックアップが開始されると、推定残り時間が表示され、プログレス バーより進行状況を 見ることができます。[詳細]ボタンをクリックすると、バックアップ ステータス モニターが表示され、ジョブ設定を確認す ることができます。また、[キャンセル]ボタンをクリックすることで、現在実行中のバックアップをキャンセルすることがで きます。

(7) バックアップ完了の確認

初回のバックアップが完了すると、復旧ポイントが追加され、自動的にステータスアイコンが[正常]に変わります。次回のスケジュールを確認し、次回のフルバックアップ(本書では土曜日)時間までに次回のバックアップで使用する RDX カートリッジに交換します。



(8) RDX カートリッジ交換時

RDX カートリッジ交換時に、D2D のタスクトレイ アイコンのステータスが一時的に変更されます。これは D2D が RDX カートリッジ内に保存されているバックアップ済のデータをチェックしているためです。

- カートリッジの取り出し → タスクトレイのアイコンが赤に変化
- カートリッジの挿入 → タスクトレイのアイコンが緑に戻る

6. ファイルのリストア手順

D2D では、システム全体を復旧するベアメタル復旧と、ファイルやフォルダ単位にリストアできる機能を提供しています。ファイル・フォルダ単位のリストア機能は、リストア対象となるファイルの検索方法が異なる3つの方法でリストアすることができます。

注: リストア機能を使用したフルリストアでは、システムをリカバリすることはできません。システム全体を復旧する場合は ベアメタル復旧を行ってください。

(1) 復旧ポイントの参照

バックアップしたデータのフォルダ ツリーから、リストアしたいファイル・フォルダを選択し、ウィザード画面に従っ てリストアすることができます。複数のファイルやフォルダを同時に選択し、一括でリストアできます。リストア対象 のファイル・フォルダ数が多い場合に使用します。

(2) Windows エクスプローラからのリストア

Windows エクスプローラから、バックアップデータを直接参照してリストアする機能です。少ないファイル・フォル ダを、ドラッグアンドドロップで、素早く、簡単にリストアする場合に使用します。

(3) リストアするファイル・フォルダの検索

リストア対象のファイル・フォルダ名の一部しか解らない場合や、同一名のファイルが複数個所に存在する場合 など、検索結果からリストアする対象のファイル・フォルダを選択しリストアする場合に使用します。

(1) 「復旧ポイントの参照」を使用したリストア手順

- ① タスクトレイなどから、D2D 画面を起動し、ログインします。
- ② 画面右側のタスクメニューから[リストア]を選択し、クリックします。



③ リストア方式として[復旧ポイントの参照]をクリックします。

| Jストア | | × |
|----------|---|------------|
| リストア方式は | を選択してください。 | |
| | 復旧ポイントの参照 復日ポイントを参照して選択します。次に、リストアするデータを選択します。ファイル、フォルダまたはアプリケ ーションを回復するには、このオプションを使用します。 | |
| * | ファイル コピーの参照 デスティネーション (ディスカ/クラウド) を参照します。次に、リストアするデータを選択します。ファイル/フォル ダを回復するには、このオブションを使用します。 | |
| Q | リストアするファイル/フォルダの検索 パックアップおよびファイル コピーからリストア対象ファイル/フォルダを検索します | |
| | VM の復旧 リストア対象として仮想マシン全体を選択します | |
| 2 | Exchange メールのリストア 「狙日ボイントを参照して選択します。、次に、リストアするデータを選択します。 メール、 メールボックス フォル ダ、またはメールボックスを回復するには、 このオブションを使用します。 | |
| | | |
| | キャンセル | <u>^₩7</u> |

④ フォルダツリーを展開し、リストアしたいファイル・フォルダの左側に表示されるチェックボックを選択し、リストア するファイル・フォルダを指定し、[次へ]をクリックします。

| 217 | | | | | | |
|--|------------------------|------------------------------------|-----------|--|--|--|
| ── 復旧ポイントの参照 パックアップ場所 | | | | | | |
| バックアップ場所の選択 | E¥ARCserveD2Dr16 | > | 参照 | | | |
| 復旧ボイントの日付 | | | | | | |
| 🔳 9月 2011 ▼ 🕞 🕨 | 時刻種類 | 名前 | カタログ ステータ | | | |
| 日月火水木金土 28 23 30 31 1 2 3 | 🛞 午後 8:35:24 フル バックアップ | カスタマイズされたフル バックアップ | 作成済み | | | |
| 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 22 24 | | | | | | |
| 25 26 27 28 29 30 1 | 名前 | 更新日時 | サイズ | | | |
| 2 3 4 5 6 7 8 | ⊳ ⊡ 🗃 C: | | 19.21 GB | | | |
| 今日 | 4 🖬 🗃 D: | | 104.27 MB | | | |
| | 🔺 🔲 TestData | 2011/9/11 午後 8:23:50 | | | | |
| 指定期間 | ▶ □ 🗀 第1ソリューション営業部 | β 2011/9/11 午後 8:23:50 | | | | |
| 午前 1 2:00:00 一午前 2:59:59 | ▲ ■ 🗀 筆の川コーション営業部 | g 2011/9/11 午後 8:23:52 | | | | |
| 午前 3:00:00 - 午前 5:59:59 | | | E 00 MD | | | |
| 午前 6:00:00 - 午前 8:59:59 | Cadiza_user_guide; | | 5.33 MB | | | |
| 午前 9:00:00 - 午前 11:59:59 | ■ D2D導入提案資料 | 1pptx 2011/8/18 年後 3:03:40 | 2.99 MB | | | |
| 午後12:00:00 - 午後 2:59:59 | ■ 📄 D2D導入提案資料 | 2011/8/18 午後 3:03:40 | 2.99 MB | | | |
| 午後 3:00:00 - 午後 5:59:59 | ■ 📄 D2D導入計画書_U | Draft1.docx 2010/3/24 午後 1:46:36 | 324.27 KB | | | |
| 午後 6:00:00 - 午後 8:59:59 (1) | ■ 🗈 D2D導入計画書! | Draft2.docx 2010/5/12午後4:28:44 | 324.30 KB | | | |
| 午後 9:00:00 - 午後 11:59:59 | | | 2819 MB | | | |
| | | | 20.13 MD | | | |
| | | 前に戻る 次へ キャンセ | u \ | | | |

⑤ リストアオプションを指定し、設定後[次へ]をクリックします。下図の例では[別の場所にリストアする]を選択しています。リストア先として指定したフォルダが存在しない場合は、自動的に作成されます。リストア先としてリモートの共有フォルダを指定する場合は、UNC パス(¥¥マシン名¥共有フォルダ名)をリストア先に指定します。既に使用中のフォルダへリストアする場合には、既存ファイルに対する動作を[競合の解決]より設定することができます。

| <u>ሀストア</u> | × |
|--|---|
| リストア オプション デスティネーション リストア先を選択します。 | |
| 別の場所にリストアする D¥Restore | → 参照 |
| | ディレクトリ構造 リストア中にルート ディレクトリを作成するかどうかを指定します。 |
| ○ 既存ファイルを上書きする | 🔲 ルート ディレクトリを作成する |
| 🥅 アクティブ ファイルを置換する | |
| ○ ファイル名を変更する | |
| ● 既存ファイルをスキップする | |
| | |
| | |
| | 前に戻る 次へ キャンセル ヘルプ |

⑥ 設定内容を確認し[完了]をクリックすることでリストアが開始されます。リストアはリストア ジョブとしてすぐに実行されます。

| <u>ሀ</u> ストア | | × | | | |
|---|-------------|-----------|--|--|--|
| リストア サマリ 設定が正しいことを確認した後、「完了」 をクリックしてリストア プロセスを開始します。 リストアするファイル | | | | | |
| 名前 | 82 | サイズ | | | |
| 第2ソリューション営業部 | D:¥TestData | | | | |
| デスティネーション D¥Restore 競合の解決 既存ファイルをスキップする: はい ディレクトリ構造 | | | | | |
| | | | | | |
| | 前に戻る 完了 | キャンセル ヘルブ | | | |

(2) WINDOWS エクスプローラからのリストア

RDX に割り当てられているドライブをエクスプローラから開き、コンピュータ名のフォルダを展開します。表示されたフォルダを選択し、右クリックメニューから[ARCserve D2D ビューに変更]を選択します。



② [ARCserve D2D ビューに変更]を選択すると、バックアップ先フォルダのアイコンが以下のように変わります。
 <通常の Windows ビュー> <ARCserve D2D ビュー>



③ [ARCserve D2D ビュー]に変更後、フォルダ内を展開すると、復旧ポイントが表示されます。復旧ポイントをさらに展開すると、バックアップデータがドライブとして表示されます。ドライブを展開することでリストアしたいフォルダ・ファイルを選択し、エクスプローラ上からリストアすることができます。



- ④ リストア操作の完了後は、必ず[通常の Windows ビュー]に切り替えます。
 - ※ [ARCserve D2D ビュー]中は、バックアップデータがファイルシステムにマウントされている状態になります。 マウントされたままの状態では、RDX カートリッジを抜くことができません。

(3) 「リストアするファイル・フォルダの検索」を使用したリストア手順

- ① タスクトレイなどから、D2D 画面を起動し、ログインします。
- ② 画面右側のタスクメニューから[リストア]を選択し、クリックします。

| \$25 | |
|-------------|--|
| 💽 今すぐバックアップ | |
| 🞽 ሀגኑም | |
| ★ 設定 | |
| 御田ボイントのコピー | |
| 👓 ログの表示 | |
| ▼ 展開 | |

③ リストア方式として[リストアするファイル/フォルダの検索]をクリックします

| リストア | | | × |
|------|-----------|--|-------------|
| リストミ | ア方式を | E選択してください。 | |
| | | 復旧ポイントの参照 復日ポイントを参照して選択します。次に、リストアするデータを選択します。ファイル、フォルダまたはアプリケ ーションを回復するには、このオプションを使用します。 | |
| | 1 | ファイル コピーの参照 デスティネーション(ディスク/クラウド)を参照します。次に、リストアするデータを選択します。ファイル/フォル ダを回復するには、このオプションを使用します。 | |
| | ٩ | <mark>リストアするファイル/フォルダの検索</mark> バックアップおよびファイル コピーからリストア対象ファイル/フォルダを検索します | |
| | ** | ▼M の復日 リストア対象として仮想マシン全体を選択します | |
| | 2 | Exchange メールのリストア 復日ポイントを参照して選択します。たに、リストアするデータを選択します。メール、メールボックス フォル ダ、またはメールボックスを回復するには、このオブションを使用します。 | |
| | | | |
| | | キャンセル | <u>∧.⊮7</u> |

④ 検索対象を入力します。以下の例では、D ドライブにあり、「提案」という文字がファイル名に含まれるファイル を検索します。入力完了後、[検索]をクリックします。

| 撞壶提所 | 101 24 10 201875 | |
|---------------|-------------------|------|
| ▼ バックアップ場所 | E:¥ARCserveD2Dr16 | → 参照 |
| 🔲 ファイル コピーの場所 | | 変更 |
| 検索対象 | | |
| ファイル/フォルダ名 | *提案* | |
| 検索パフ | D:¥ | 抽壶 |

⑤ 検索完了後、[OK]をクリックします。

| CA ARC | serve D2D |
|--------|--------------|
| į | 検索操作が完了しました。 |
| | <u></u> |

⑥ 検索結果から、リストアしたいファイル・フォルダの左側に表示されるチェックボックを選択し、リストアするファイルを選択します。ファイルを選択後、[次へ]をクリックします。下図の例では「D2D 導入提案資料 2.pptx」ファイルをリストア対象として選択しています。

| 名前 | サイズ | 更新日 | ファイル コピー/パックアップ |
|---------------------------------|-------------|----------------------|-----------------|
|] D:¥TestData¥第2ソリューション営業部¥D2D導 | 入提案资料1.pptx | | |
| ■ 🖺 D2D導入提案資料1pptx | 2.99 MB | 2011/8/18 午後 3:03:40 | パック アップ |
| ∃ D:¥TestData¥第2ソリューション営業部¥D2D導 | 入提案資料2.pptx | | |
| ■ 🖺 D2D導入提案資料2pptx | 2.99 MB | 2011/8/18 午後 3:03:40 | パッケアップ |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | 前に戻る 次へ | 4.0 4.4.4 |

⑦ リストアオプションを指定し、設定後[次へ]をクリックします。下図の例では[元の場所にリストアする]を選択しています。元のファイルが存在する場合は、既存ファイルに対する動作を[競合の解決]より設定することができます

| ሀストア | × |
|---|---|
| リストア オプション デスティネーション リストア先を選択します。 ・一の場所にリストアする 別の場所にリストアする | → 参照 |
| | ディレクトリ構造 リストア中にルート ディレクトリを作成するかどうかを指定します。 |
| ◎ 既存ファイルを上書きする | 🥅 ルート ディレクトリを作成する |
| 🔲 アクティブ ファイルを置換する | |
| ○ ファイル名を変更する | |
| ○ 既存ファイルをスキップする | |
| | |
| | 前に戻る 次へ キャンセル ヘルブ |

⑧ 設定内容を確認し[完了]をクリックすることでリストアが開始されます。リストアはリストアジョブとしてすぐに実行されます。

| 21-7 | | |
|--|--------------------------|-----------|
| リストア サマリ | | |
| 設定が正しいことを確認した後、「完了」をクリックして リストアするファイル | リストア プロセスを開始します。 | |
| 名前 | パス | サイズ |
| D2D導入提案資料2.ppt× | D:¥TestData¥第2ソリューション営業部 | 2.99 MB |
| デスティネーション 元の場所にリストアする | | |
| 競合の解決 | | |
| 既存ファイルを上書きする: はい | | |
| アクティブ ファイルを置換する: いいえ | | |
| ディレクトリ構造 | | |
| ルート ディレクトリを作成する: いいえ | | |
| | 前に戻る完了 | キャンセル ヘルフ |